



荒川中だより

青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和7年度 第10号
令和8年1月13日発行
村上市立荒川中学校

仕上げと新しい一歩への学期

校長 西村 諭

新年を迎えました。今年もよろしくお願ひいたします。令和8年は、丙午（ひのえ・うま）の年にあたります。丙午は、火のエネルギーに満ちあふれていることから、情熱、活力、変革がテーマの年といわれています。生徒と共に、新しい挑戦をしていきたいと思ひます。

<3学期の意義と生徒への願ひ>

さて、冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。3学期は令和7年度の最後の学期であり、年間のまとめと仕上げ、そして新年度への準備の学期といえます。

始業式では、こうした意味から3学期を「0学期」と呼ぶこともあると話しました。さらに、「画竜点睛」という言葉を紹介しました。これは「物事を完成させるための、大切な最後の仕上げ」という意味です。生徒一人一人が、これまで積み重ねてきた努力を、最後にしっかりと仕上げることが大切であると考えています。

卒業式や離任式など、お別れの場面もある学期です。お世話になった方への感謝の気持ちを伝えることも、仕上げの一つです。3学期をどのように締めくくるか、そして新年度に向けてどんな準備をするか、しっかりと考え、行動してほしいと願っています。

<3学期の重点取組>

このように、生徒にとっては、一年間を振り返り、自分のよさと可能性を見いだす学期です。私たち教職員は、生徒一人一人がこの一年間でどう成長したか、次の年度に目指すことは何かを具体的に見だし、希望や目標をもたせて新年度に向かえるよう、リードしていきます。そのために、後期学校評価の分析等から、3学期は次の点に重点を置いて、教育活動を進めて参ります。

○2学期に引き続き、生徒の自律心の育成を目指して、生徒が自己決定(*)する場面を設定していく。

- ・知育…授業づくり研修のまとめを行い、深い学びの実現を図る。また、授業と関連付けた家庭学習（がん勉）の在り方を指導し、取組時間にも挑戦させる。
- ・徳育…生徒会引継ぎ活動を通して、リーダーの力量を高めたりフォロワーの在り方を考えさせたりする。また、学校全体で、明るい挨拶キャンペーンに取り組む。
- ・体育…体育授業の意欲的な取組を工夫する。保健給食委員会の活動支援を行いながら、規則正しい生活習慣の定着を図る指導を継続する。

(*自己決定…自分で決めるプロセスをいいます。単に「自分で選ぶ」という行為ではなく、自分の価値観や信念に基づいて決定し、その結果に責任をもつ一連のプロセスです)

今学期も、保護者・地域の皆様と共に、生徒の成長を支えて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。